

06/07 途中経過

グループ名：「ながさわたちのいるところ」

作品名：「顔花火」

1122007 大森崇仁

1122014 熊谷隼人

1122025 長澤哲朗

顔認識を実現させるための方法

○Max 大森

Max6MSP Jitter を使って試作・実験中。

試作の成果として、カメラからの映像を mov ファイルに録画するパッチの試作品が完成。

顔認識に直接結びつくものではないが、今後この機能を何らかの形で活かせないか考え中。

(一定時間自動で録画するアルゴリズムを組み、生成された mov を読み込んでまた何かアクションを起こす、など)

※同試作品のパッチファイルを一緒に添付しておきました。

○OpenCV 熊谷

OpenCV は画像に認識の方法として用いられる、オープンソースの C/C++ ライブラリ集です。

C++ は扱ったことがないので実際にしようするのは難しそうですが、もう少し検討してみようと考え中です。

類似作品

○ソニー「Dream Xmas 2011」AR イルミネーション (2011)

AR 技術「SmartAR」と顔画像認識技術を利用したイベント「Dream Xmas 2011」で行われた、ソニーによるインスタレーション。

クリスマスの雰囲気を楽しめる雪や様々な形のオーナメントが、“SmartAR”と顔認識技術により画面の中の自分に降り注ぎ、

頭に触れるとオーナメントが光を放って弾けていく。

